

MECプログラム開講科目

MECプログラム開講科目の概要

MEC 開講科目	MECで学ぶ分野と対象者
日本語表現	大学の授業やゼミで必要となるレポートの作成方法を、身近な話題やテーマを中心に、新聞などの教材を使い学習します。この科目では、通信教育教材及び自己学習テキストで基礎を学び、最終的に応用としてレポートを提出してもらいます。レポートテーマは、学部ごとに設定していますので、より実践的な力を身に着けられるでしょう。高校の「国語」や「国語表現」とは異なる大学生として必要な力を学びたい人にお勧めです。
英語の基礎	高校で学ぶ「英文法」の最も基本的な内容や用法について、知識の整理・確認を中心に行います。基礎英文法を復習することによって、コミュニケーション能力を磨くことにもつなげられます。英語や文法が苦手な人が対象です。（英検3級～準2級レベル）
Reading I (初級)	高校で学習したさまざまなポイントを確認しながら、やや易しめの英文を使って、「文法、構文などを活用して英文を総合的に理解すること」を目標に学習します。読解の基礎となる文法、語法を確認して、自信を持って身近な英文トピックを読み解きましょう。英文読解の基本を徹底的に確認したい人にお勧めです。（英検準2級～2級レベル）
Reading II (中級)	(中級) 高校で習得した英語力を活用して、英文読解にチャレンジします。主に英語検定試験2級の過去問題を使用して、学習します。英語に非常に興味を持っている人や読解力を積極的に身につけたい人に適しています。（英検2級レベル）
数学(文系)	法学部、経営学部、人間学部、都市情報学部の専門科目で必要とされる数学の基本について学びます。中学1年生～高校2年生の内容が中心ですので、総復習として取り組みましょう。数学Ⅰ・A、Ⅱ・Bまでの「四則演算」、「因数分解」、「一次関数」、「指数・対数」、「確率・統計」を中心に展開します。 数学が苦手な人や、高校1～2年生以降、数学を履修していない人にお勧めです。
数学(理系) <基礎> <応用>	情報工学部・理工学部で必要となる数学の基本について、確認します。農学部入学予定者も受講可。『数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』より、「二次関数」、「三角関数」、「指数・対数」、「微分・積分」を中心に展開します。 <基礎> 『数学Ⅰ・Ⅱ』を不得意とする人やこの分野に不安を抱いている人にお勧めです。 <応用> 『数学Ⅲ』を履修していない人や基礎力を高めたい人にお勧めです。

MECプログラム開講科目

MECプログラム開講科目の概要

MEC 開講科目	MECで学ぶ分野と対象者
数学（薬）	<p>薬学部で必要となる「微分・積分」の基本について、学習します。</p> <p>「関数の極限」からスタートし、「微分」の本質を追及したうえで、「積分」を学びます。</p> <p>数学が苦手な人や、『数学Ⅲ』を履修していない人にお勧めです。</p>
物理（理系） <基礎> <応用>	<p>情報工学部・理工学部の専門科目で必要とされる物理の基本について学びます。農学部入学予定者も受講可。『物理基礎』『物理（4単位）』の「力学」分野より、「物体の運動」、「運動方程式」を中心に展開します。</p> <p><基礎> 高校の物理の教科書レベルの問題を用いて力学の基本的な演習を行います（教科書の例題や章末問題程度）。『物理基礎』を履修していない人やこの分野に不安を抱いている人にお勧めです。</p> <p><応用> 大学で学ぶ物理の入り口です。数学の「微分・積分」を使いながら、物理を理解していきます。『物理（4単位）』を履修していない人や力をつけたい人にお勧めです。</p>
物理（薬）	<p>薬学部での授業や国家試験で必要とされる物理「力学」の基本について、数学の「微分・積分」を使いながら、「物理」を理解します。</p> <p>物理の未履修者をはじめ、「物理学」の理解、数学力の強化をめざす人に最も有効です。</p>
化学	<p>理工学部・農学部で化学を学ぶうえで必要な基本事項を学びます。これらの基本事項は大学で化学を学習する上で最低限必要な事項です。</p> <p>化学基礎より、「電子配置と周期表」、「化学結合の形成」、「原子量・分子量・物質質量（モル）などの化学量」、「溶液の濃度」などを中心に学びます。</p> <p>化学をほとんど履修していない人や苦手な人、または、入試科目で化学を選択しなかった人にお勧めです。</p>
生物	<p>農学部・薬学部の専門科目で必要とされる生物の基本について学びます。</p> <p>『生物基礎』『生物（4単位）』より、「細胞」、「酵素・呼吸」、「遺伝子」を中心に展開します。</p> <p>『生物（4単位）』の未履修者をはじめ、生物が苦手な人、『生物基礎』のみ履修した人にお勧めです。</p>